



2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月10日

上場会社名 金下建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1897 URL <https://www.kaneshita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金下 昌司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 奥村 泰宏

TEL 0772-46-3151

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,887	44.0	51		46	93.9	21	95.6
2020年12月期第3四半期	8,732	1.3	652	313.1	745	226.4	474	229.0

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 8百万円 (%) 2020年12月期第3四半期 513百万円 (304.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	9.77	
2020年12月期第3四半期	209.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	19,770	17,082	84.8
2020年12月期	19,991	17,199	84.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 16,760百万円 2020年12月期 16,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期				50.00	50.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	27.0	80		50	93.6	20	96.0	9.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	3,806,660 株	2020年12月期	3,806,660 株
2021年12月期3Q	1,650,561 株	2020年12月期	1,650,334 株
2021年12月期3Q	2,156,224 株	2020年12月期3Q	2,259,569 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
四半期個別受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続し、経済活動が抑制される中、個人消費や雇用情勢が低迷する等、引き続き厳しい状況が継続し、景気の先行きは、依然として不透明な状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移いたしました。民間設備投資は、新型コロナウイルス感染症の影響等により低調に推移しており、また、資材価格の高騰や建設技術者・労働者不足の問題が継続する等、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、前期からの繰越工事が減少したこと等により48億8千7百万円（前年同四半期比44.0%減）となりました。利益面につきましては、売上高が減少したことにより営業損失は5千1百万円（前年同四半期は6億5千2百万円の営業利益）となり、経常利益は4千6百万円（前年同四半期比93.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2千1百万円（前年同四半期比95.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

（建設事業）

受注工事高は、63億3千6百万円（前年同四半期比42.2%増）となりました。完成工事高は前期からの繰越工事が減少したこと等により46億9千8百万円（前年同四半期比45.1%減）となり、セグメント利益は完成工事高が減少したことにより2億9千1百万円（前年同四半期比70.2%減）となりました。

（製造・販売事業等）

主にアスファルト製品の製造・販売で、売上高は4億1千2百万円（前年同四半期比7.9%減）、セグメント利益は4千万円（前年同四半期比43.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2億2千1百万円減少し197億7千万円となりました。減少した主な要因は、前連結会計年度末に比べ完成工事高の減少等により受取手形・完成工事未収入金等が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より1億4百万円減少し26億8千8百万円となりました。減少した主な要因は、大型工事の前受金による未成工事受入金の増加等がありましたが、法人税等の中間納付による未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より1億1千7百万円減少し170億8千2百万円となりました。減少した主な要因は、配当金の支払い等により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.8%（前連結会計年度末は84.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年8月4日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,479	8,661
受取手形・完成工事未収入金等	2,241	1,789
有価証券	700	1,300
未成工事支出金等	360	416
その他	14	174
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	11,794	12,339
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,211	1,218
その他(純額)	330	510
有形固定資産合計	1,541	1,728
無形固定資産		
	12	9
投資その他の資産		
投資有価証券	6,270	5,330
その他	599	587
貸倒引当金	△225	△224
投資その他の資産合計	6,644	5,693
固定資産合計	8,197	7,430
資産合計	19,991	19,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	752	777
未払法人税等	250	0
未成工事受入金	132	507
完成工事補償引当金	57	14
賞与引当金	—	52
工事損失引当金	72	15
その他	587	380
流動負債合計	1,848	1,745
固定負債		
繰延税金負債	544	523
役員退職慰労引当金	383	404
その他	16	16
固定負債合計	943	943
負債合計	2,792	2,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,147	2,147
利益剰余金	17,131	17,045
自己株式	△4,897	△4,898
株主資本合計	15,382	15,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,484	1,466
その他の包括利益累計額合計	1,484	1,466
非支配株主持分	334	322
純資産合計	17,199	17,082
負債純資産合計	19,991	19,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,732	4,887
売上原価	7,397	4,239
売上総利益	1,335	647
販売費及び一般管理費	682	698
営業利益又は営業損失(△)	652	△51
営業外収益		
受取利息	19	20
受取配当金	46	51
持分法による投資利益	—	6
不動産賃貸料	26	29
その他	33	5
営業外収益合計	125	111
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	13	—
不動産賃貸原価	11	11
その他	8	4
営業外費用合計	32	15
経常利益	745	46
特別利益		
固定資産売却益	5	3
特別利益合計	5	3
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	17	—
特別損失合計	17	0
税金等調整前四半期純利益	733	48
法人税等	252	39
四半期純利益	481	9
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	474	21

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	481	9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△17
その他の包括利益合計	32	△17
四半期包括利益	513	△8
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	506	4
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,566	166	8,732	—	8,732
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	281	281	△281	—
計	8,566	448	9,013	△281	8,732
セグメント利益	977	70	1,047	△395	652

(注) 1. セグメント利益の調整額△395百万円には、セグメント間取引消去△35百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△360百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに帰属しない「全社資産」において、土地及び電話加入権の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において土地16百万円、電話加入権1百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	建設事業	製造・販売 事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,698	188	4,887	—	4,887
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	224	224	△224	—
計	4,698	412	5,111	△224	4,887
セグメント利益	291	40	331	△381	△51

(注) 1. セグメント利益の調整額△381百万円には、セグメント間取引消去△6百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△375百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

四半期個別受注の状況

個別受注実績

(百万円未満四捨五入)

	受 注 高	
2021年12月期第3四半期	6,079 百万円	43.8 %
2020年12月期第3四半期	4,226 百万円	△8.3 %

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(参考)受注実績内訳

(単位：百万円)

区分		2020年12月期 第3四半期		2021年12月期 第3四半期		比較増減	増減率	
建 設 事 業	土木	官公庁	2,748	(65.0 %)	3,661	(60.2 %)	914	33.2 %
		民間	401	(9.5 %)	107	(1.8 %)	△ 294	△ 73.2 %
		計	3,149	(74.5 %)	3,769	(62.0 %)	620	19.7 %
	建築	官公庁	52	(1.2 %)	90	(1.5 %)	38	73.0 %
		民間	1,026	(24.3 %)	2,220	(36.5 %)	1,195	116.5 %
		計	1,077	(25.5 %)	2,310	(38.0 %)	1,233	114.4 %
	合計	官公庁	2,799	(66.2 %)	3,751	(61.7 %)	951	34.0 %
		民間	1,427	(33.8 %)	2,328	(38.3 %)	901	63.1 %
		計	4,226	(100.0 %)	6,079	(100.0 %)	1,852	43.8 %

(注) () 内のパーセント表示は、構成比率